



Top Message 「山九グループ長期ビジョン」の策定にあたって

# 激動の時代、山九グループの進むべき「羅針盤」をつくりました。

世界経済はいま、激動と混乱のなかにあります。グローバル化の進行によって、かつて経験したことのない規模とスピードで変化と影響が広がっていくからです。

こうした状況のなかで、2018年、私たちは創業100周年を迎えます。この100周年という節目、さらにその先の我々のあるべき姿を見すえたとき、必要不可欠なのは国内外に広がる山九グループ全社、全社員の総力の結集であり、そのために軸のぶれない方向性として定めたのが、今回の「山九グループ長期ビジョン」です。

これは単なる長期経営計画ではありません。山九グループとして我々の進むべき道を指し示す「羅針盤」の役割を担っています。そのため、当社の存在意義そのものである「経営理念」を再定義し、また「行動規範」の制定などいわゆる『企業理念』の再整理を行いました。

我々は創業以来、『社訓三原則』を心に刻み、人を大切にすることを基本に、お客様にとってなくてはならない存在でありたいと願い、また社業の発展を通じて社員の福祉向上並びに社会の発展に貢献することを目指してきました。これからもこの経営理念は不変であり、我々の存在意義そのものです。山九グループ全社員が同じ思いをもったうえで、「長期ビジョン」を遂行していく。それこそが今回策定した『山九グループ長期ビジョン』なのです。

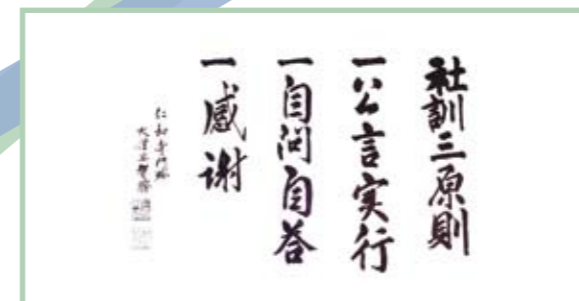
この「羅針盤」が正しく機能すれば、たとえいかなる変化が巻き起こっても我々山九グループ最大の財産である「人財」、「知恵」そして「柔軟性」が最大限の力を発揮し、乗り越えることができます。いまその第1歩がはじまったのです。みなさんと心を合わせ、確実に歩いていきたいと願っています。

社長 中村公一



「山九グループ長期ビジョン」は、グループ全体の羅針盤です。

国内外に広がる山九グループ全社、全社員が同じ理念を掲げ、同じ目標にむかって同じ規範で自分を律することによって、はじめてグループ全体の潜在力が最大限に発揮され、厳しい時代にあってもさらなる発展を遂げられるのです。



社訓三原則 全グループ員が真剣に心に刻むべきこと

公言  
実行

目標を高く掲げ、公にして、それに向かって最大限の努力を惜しまず、実行すること。

自問  
自答

たえず相手の立場にたって物事を考えること。そうすると独りよがりにならず、物事の正しい姿が見えてくる。

感謝

自分を取り巻く様々な人たちに常に感謝の念を忘れてはならない。我が社の社名の由来でもある。



# 1

## 経営理念……………山九グループが世の中に向けて約束すること

人を大切にすることを基本理念とし、  
お客様にとってなくてはならない存在としての山九を築きます。  
そして、社業の発展を通じて社員の福祉向上  
並びに社会の発展に貢献します。



# 2

## 経営目標……………経営理念の実現のために、 経営が世の中とお客様と社員一人ひとりに約束すること

### ▶ 良き企業市民として、国際社会の発展に貢献します。

社会から認められる企業になりたい。これは、私たちみんなの願いです。  
社会の一員として、地域との関わりや環境のことを積極的に考え行動し、  
信頼と魅力あふれる会社になります。

### ▶ 産業進化に即した、最高のサービスを提供します。

私たちが誇るサービスは、技術・技能、システムに裏付けられた一人ひとりのサービスです。  
「山九の仕事は最高だ」と言われるよう、常にお客様の立場・目線で、  
お客様の期待に応えるための山九グループ独自の技術・技能、システム開発を進めています。

### ▶ 現場の知恵・汗を大切にし、社員の可能性を育みます

現場の力は、私たちのかけがえのない財産です。  
みんなの声がよく届き、元気でのびのび働けるよう、  
風通しのよい明るい職場をつくります。現場第一の考えが基本です。

# 3

## 行動規範 ~道徳、倫理に基づいた行動に向けて~

……………社員一人ひとりが日々の行動の指針として世の中と会社に約束すること

経済効率最優先の時代が終り、社員一人ひとりが善き市民として心の豊かさやモラルを育んでいるかどうか、  
企業の重要な価値になりました。誇るべきことに山九には、長い歴史に培われた不変の倫理観と正義感があります。  
この山九ならではの企業風土を明文化しました。どうか日々の行動の原点として心に刻み実行してください。



### ▶ 安全を全てにおいて優先します。

社員と家族の幸せを守るため、災害ゼロを目指します。  
働く人の命と健康を守るため、安全を最優先します。



### ▶ コンプライアンスに基づき行動します。

業務上だけでなく、社会生活上の(身の回りの)あらゆる法令・規則を遵守します。  
いついかなる場合も良心に恥じない行動をします。



### ▶ 文化、宗教、価値観を正しく認識しグローバルに行動します。

国籍、人種、性別、経歴、年代(世代)、言語の違いを正しく理解するとともに、多様な文化や思想を尊重します。  
異なった価値観、視点、意見を尊重します。



### ▶ 地球環境保護に積極的に取り組みます。

省資源、省エネルギーを常に意識し行動します。  
地球温暖化防止に向け、一人ひとりができることから始めます。



### ▶ 社会に感動を与える仕事をします。

現場の知恵で、お客様に喜びを提供します。  
お客様からの声に誠実に対応し、付加価値の高いサービスの提供に努めます。  
産業界から「任せて安心」と評価され、パートナーとして選ばれる企業を目指します。



### ▶ 自分の仕事に誇りと責任を持ちます。

仕事のプロとして、常に高い志を持ち、自らの能力の向上と人材の育成に努めます。  
常に産業界を下支えしているとの誇りと自覚を持って行動します。  
常に自己研鑽に励み、職場が自己実現の場となるよう努めます。



### ▶ 互いを尊重し共に発展します。

常に相手の立場に立ち、理解し合い、良好な関係を築きます。  
相手を思いやり、助け合う気持ちを大切に、共に成長します。



### ▶ 魅力ある人が育つ企業を目指します。

全従業員のやる気を引き出します。  
各人の個性的な専門能力・チャレンジ精神・情熱・バイタリティーを大事にし、  
パーソナリティーを活かせる職場を目指します。



### ▶ 現場の汗を結集し強い企業であり続けます。

現場の知恵・汗・声を活かし、最高の現場を目指します。  
現場の知恵・汗を大切に、山九グループの現場力を継承します。



# 1 目指すべき方向性

「ロジスティクス」「プラント・エンジニアリング」  
そして、「オペレーション・サポート」を軸として  
自らがグローバル化し、お客様の国際化に貢献する  
ソリューション企業を目指す。

【ソリューション企業】※技術・技能、システムを複合的に組合せ、現場力と知恵を用いてお客様の改革に貢献する企業



①従来の「物流」と「機工」に「構内」を加えた  
3つを主力事業とし、併せて事業名称を  
わかり易く改称しました。

山九グループの事業を機能で分類・整理すると「物流」と「機工」の2事業となり、「構内」はお客様の工場構内といったフィールドを指すものですが、このフィールドにおいて「物流」と「機工」を組み合わせて提供する「オペレーション・サポート」は、私達の持つユニーク性であり、かつ強みでもあります。長期ビジョンでは、これら3つを主力事業として定義し、社外へも訴えていきます。



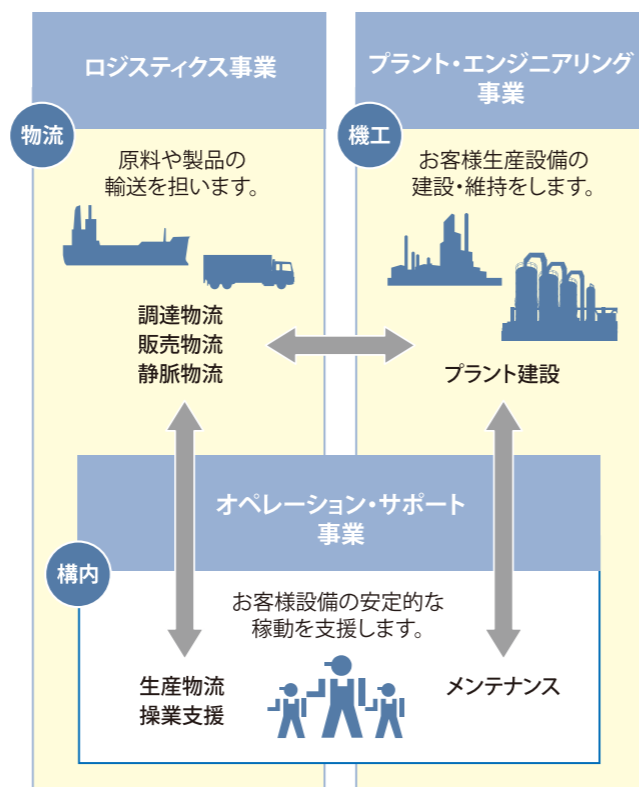
②グローバル化を更に推進します。

お客様の生産拠点などの海外移転を始めとする、国際化の動きは今後も更に拡大していくことが予想され、海外にネットワークを持つ山九グループにとつての大きなビジネスチャンスとなる可能性があります。そんな中、これらの変化に対応し、お客様に貢献するため、山九ならびに国内外のグループ各社が更なるグローバル化を推進します。ただ、真の意味でのグローバル化実現には、いつでも、どこでも「山九品質」を提供できることが欠かせない要素となります。安全品質、作業品質およびコンプライアンスをも含めた広義の品質管理を徹底してください。



③ソリューション企業を目指します。

ここで言う「ソリューション企業」とは、技術・技能、システムを複合的に組み合わせ、現場力と知恵を用いてお客様の改革に貢献する企業を指しますが、山九グループにおいては「ロジスティクス」「プラント・エンジニアリング」「オペレーション・サポート」を組み合わせ、現場力の更なる強化と技術力の高度化を通して、お客様の問題を解決するとともに、ひいては経営改革に貢献できる企業でありたいとの願いを込めています。



『お客様をトータルにサポートするユニークなサービス』

これらを一貫して、お客様から請け負うことができる  
私たち山九グループが最も得意とする、ユニークなサービスです。

# 2 基本方針

①強みを活かした事業を展開する。

私たちは「ロジスティクス」「プラント・エンジニアリング」そして「オペレーション・サポート」の3つの異なる事業を持っています。各事業の強みを活かせる分野に集中し、コア事業として徹底的に強化します。これらを有機的に結合し、お客様をトータルにサポートするユニークなサービスをグローバルに展開していきます。

②現場力の強化で高品質なサービスを提供し、自ら進化するプロ集団を目指す。

私たちの財産は「現場の力」です。現場力を強化しお客様に満足していただける最高のサービスを提供します。より良いサービスを提供するために、常に改革を求め改善と提案を繰り返し、自ら進化するプロ集団を目指します。

③技術力を高めることで、今までにない新しいサービスを創造する。

社会のニーズ、お客様のニーズ、現場のニーズは益々高度化しています。これらのニーズにお応えするために、最新技術を取入れた革新的なサービスを創造していきます。



# 3 事業の方向性

①主力事業は、ロジスティクスとプラント・エンジニアリング、オペレーション・サポートの3事業とする。

②3つの事業を展開し安定成長を実現する。

③「プラント・エンジニアリングから切り込み、オペレーション・サポート、ロジスティクスに繋げる」  
基本的なビジネスモデルは海外を中心に積極展開する。

④産業界のアウトソーシングニーズの拡大には、お客様の業務改革に貢献するスタンスで対応する。  
お客様業務を取り込み上流工程への進出を目指します。  
個別に積み上げてきた技術・技能、システムを複合的に組合せ、お客様の抱える課題を解決するサービスを提供します。

⑤シナジーの発揮

ロジスティクスとプラント・エンジニアリング、オペレーション・サポートを併せ持つ強みを活かし、お客様の企業戦略をトータルにサポートします。

■ロジスティクス事業

グローバル、シームレスに工場構内と構外をつなぐサービスを提供します。

■プラント・エンジニアリング事業

鉄鋼と化学分野のお客様を通じて培った技術・ノウハウを融合し、エンジニアリング力を強化します。

■オペレーション・サポート事業

事業運営のノウハウ・機能をパッケージ化し、他事業と連携して他業界への展開を図ります。

⑥新たな市場セグメントの拡大、開拓

社会の動向を注視し、これまで培ってきた技術・技能・ノウハウを活用して新たなお客様業界を開拓します。

■深耕拡大業界：環境関連、エネルギー分野 ■新規開拓業界：医薬品、食料関連分野